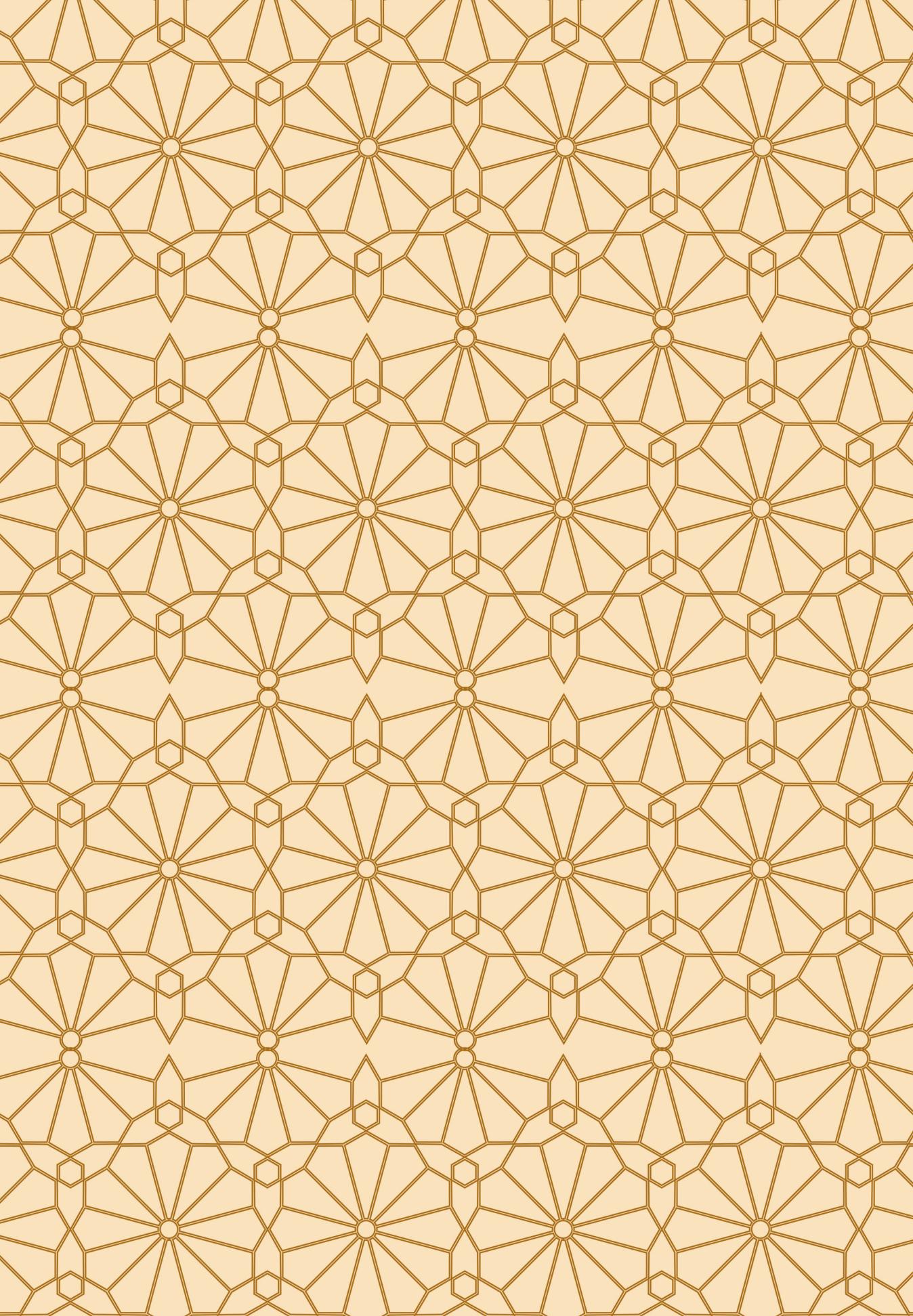




五等分の悲劇

WaterRing's Dōjinshi Vol.12





中野一花

なかの いちか

花：「お姉さんを覗き見しちゃダメだよ～フータロー君」(・_・)
風：「…興味ない…」び_び
花：「…あ、スカートを持ってきてくれ？…」ひ_ひ
風：「…あ？え！？一花、お前…」(゚_；)
花：「着替えの途中だったから…どうした？」(*'艸`*)



誰も。お姉さんのおっぱいが欲しくないの？ フー～タ～ロー 気つかないよ。

触ってみって…
いいんだよ～

上杉風太郎日記 中野一花 #01
今日、オーディションがあった一花に付き合った。着替えの途中スカートを持ってきてと言ったので着替え室のドアを開けたが、一花の下半身に何も履いてなかった！？びっくりした途端に、一花に引き込んだ。そしてシャツのボタンを外してそのまま柔らかいおっぱいと桜色の乳首を見せられた。その後のことは全く覚えていない。

お姉さん。。。♥

♥ま…待ってよフータロー…
いきなりこんな激しい…

♥まだなの…♥

上杉風太郎日記 中野一花 #02

着替え室で、一花を裸にした。思い切りにその大きくて柔らかくえ淫乱なおっぱいを揉み揉みした。そして肉茎を取り出して、立ってまま一花の中に入れた。中の暖かさは肉茎に通って脳まで伝わった。無意識に抽挿し始めた。



ア
ア
ア

一花が先に誘ったんではないか？
しっかりとマンコで…

責任を取れよ

うるじゅ
うるじゅ

ふるふる

いやがもう…♥

す…すこし休憩させて…
お姉さんもうだめ…

限界です…♥

最初…生意気のは
一花ではないか？

抽挿しが激しくて

は…反省するから…♥
もう…やめて…

バカになっちゃう

お願い
か…勘弁して
頼むよ

き…気持ちいい
一花の中が

嘘でしょ？

精液が…
こんなにいっぱい…

あつい…

ちゅぱつ

抽挿し
続け

今日は…

このままじゃ…きっと
妊娠しちゃう…
フータロー…

危険日だから

上杉風太郎日記 中野一花 #04

最後の射精で、肉茎はようやく満足ができた。肉茎を抜いた瞬間、大量な白い精液がおマンコと肉茎の隙間からどんどん流してきた。どうも一花の子宮の中は全部俺の精液だそうだ。肉茎を抜いても、一花はまだ震えていた。その時の彼女は特にきれいだった。

ビュ
ルル
ルル

上杉風太郎日記 中野一花 #03
初めてセックスしたじゃないかな？もう一時間抽挿し続けたが、全然肉茎を満足できない。一花のおマンコが素晴らしい。絞り芙蓉で彼女の子宮をどんどん上に突き刺して、何回射精したかもわからなくなつた。



中野ニ乃

なかの にの

乃：「フー君なら…」 „σ_σ“
風：「……」 Σ(°Д°)
乃：「いいんですよ…」 „σ_σ“
風：「はっ！？なにこれ！」 ((°Д°;))
乃：「絶対…惚れさせる」 „σ_σ“





サボるなよ

この私が…わざわざス
ケジュールを空けてお
いて…あんたに付き合
うからだよ

さもなければ

せめて…
許さないからね

遊ばないで

フ…フー君…
私のことが嫌い?
ニ乃じゃダメなの?

真面目に指導に欲しいの

上杉風太郎日記 中野二乃 #02

普段の二乃是気が強そうだが、かなり敏感だな。おっぱいからおマンコまで吸い上げた間に何回もいった…そのぶるぶる震てる様子。あのおマンコを開いて見るとやっぱり処女だ。俺の舌を踊らせて、5分もないのにもうびしょびしょになった。

そのまま…やめてダメ

フー、フー君がおしつこのところを舐めたらそこはみ汚いよしかもび、敏感だから…
そういく～

二乃が俺の指導が欲しいではないか？

ちゅ
ぶの

このままじゃ…

そう、そうですけど恥ずかしいから！！はやく止めて！！

もう無理

上杉風太郎日記 中野二乃 #03

おマンコもう濡れたから仕様がない。俺の肉茎を取り出して、二乃の体を試してみるしかない。入れたばかりに、二乃がまたいたと感じた。膣の中にしかり俺の肉茎を吸い上げた。五つ子と言っても、一花の柔らかさと全然違うだな。



あ！？ マンコが

そんな大きいのを…

入れたらマ…

マンコが壊れちゃう

広げられたら

二乃のおマンコ…
キツくて気持ちいいぞ

高潮…一直在

フー君のが…太くて熱
しゅごい…
フー君…フー君!!

高潮仰け

我喜歡你!!
最喜歡

子宮に…
くだしやい…全部を…
お願い
たっぷりの精液を

大量射精

ピュルルル

上杉風太郎日記 中野二乃 #04

二乃の要求で、白くて濃くて大量な精液をたっぷり彼女がはじめって使った子宮の中に射し込んだ。初めてで中出しなんで、どうも二乃もかなりセスックスに気に入りようだ。連続と二人の姉妹とセックスするのが気持ちいいだな…



中野三玖

なかの みく

玖：「え…？ フータローはどうしてここに？」(-) ..oo
風：「わっ！？三玖！？」(|||^Д^)|
玖：「ゆ…夢…だよね！？」(つ^~^) ..o
風：「待って待って！お前、パンツを履いてない…」(((Д^;)))
玖：「夢なら…大丈夫だろう…」(。o_ō)



朝、今日の補習をしようと三玖の部屋に行って、起こそうとした時。寝ぼけたか何だがわからない。まさかそのまま俺を襲ってきた。寝言を言いながら服を脱いだ。この女！寝る時パンツもはいてないのか？…ふつくらと丸みがあるおっぱいと桜色のおマンコが見放題だ…

フ…フータローはもう…
一花と二乃…とやったよね
ひどい…

締めた

私が先に…
好きになったのに…

嫌だ

欸!?

絶対…

三玖も…頑張って
フータローに気持
ちよくさせる…

負けない

ビクッ

じゅとも



上杉風太郎日記 中野三玖 #02
まさか、普段消極な三玖が本気に出したら、こんな気強いか？そのまま俺をベッドに押し付けて、騎乗位でおマンコで俺の肉茎をしっかりと締めつけて抽挿し始めた。始めてのセックスと思えないぐらい感じた。でもおマンコのキツさが流石に…

太い…太すぎ

フータロー…の悪い…
巨根…三玖だって
全部入れるの…

三玖…頑張るから

ア

肉棒ゲ…し

どう…？フータロー…
きもち…いい？
三玖の…おマンコ…
子宮を突き立てた

激しい…
揺れ…

三…三玖、お前…

ア

ア

ぶじゅー
ぶじゅー

ア

上杉風太郎日記 中野三玖 #03

男のくせに、女に騎乗位で上に乗られて無様だ。三玖が少々疲れ始めた時、勢いで彼女をベッドに押し付けて足首を掴んで、一番妊娠しやすい体位で子宫にパンパン突きまくった。肉茎は腔内を擦ると、猥褻な音が響いてた。なのに三玖は幸せそうな顔をした。



上杉風太郎日記 中野三玖 #04

精液を一滴も残さず全て三玖のキツくて柔らかいおマンコに注い込んだ。三玖の満足した顔をして、一人ぶつぶつ淫乱な話をしていた。普段静かな三玖はこんなエロいたったか？



中野四葉

なかの よつは

葉：「あれ？ どうした？ 上杉さん？」 (●フ●)

風：「…べつに」 (●)

葉：「ああ！ 顔赤いね、熱中症か！？」 (。õ_õ)

風：「は！？ いいえ…」 (△°△)

葉：「とにかく、体育倉庫で休もう…」 (。õ_õ)



ちょっと照れるね

ふ…風太郎これで
少し元気になったか？

はあ！？

昨日、あなたと三玖を
見てた…多分こういう
のが好きだなと思って

上杉風太郎日記 中野四葉 #01

今日は四葉と一緒に朝のジョギングを約束した。普段は勉強ばかりして、全然運動していない俺にとって、まじで疲れた…四葉は俺に休憩させたい理由で俺を体育倉庫に連れられて…いきなりおっぱい出した！？これは何のため？？





中野五月

なかの いつき

月：「え…上に見ちゃダメだよ！！」(^•^)

風：「はあ！？」(¯_(ツ)_/¯)

月：「あっ！！やっぱ覗き見したのしょ！！」(ºöº)

風：「あのな、パンツぐらいい履いたら見えるでしょ？」(¯_(ツ)_/¯)

月：「……やっぱりあなたは変態だ！！」



上杉風太郎日記 中野五月 #01

故パンツを履いてないままわざと俺の前に現した五月。
俺にバレたらすぐ赤い顔をし手逃げてた。変だなと思って
保健室まで追いついたが、中には全裸の五月が俺
を待っていた…ぶつぶつと言い始めた。

はあ！？

一花と三玖…

二乃と四葉に聞いたよ…
私だけは…まだやったこ
とがないって…

もきっともう…

もじもじ

私はいつも

上…上杉さんは私の事
が嫌い？

あなたと喧嘩ばかりだ

震え
て

緊張

うう…

不公平だよ
私だって…す…好き…

わ…私も…

流出

上杉風太郎日記 中野五月 #02

泣きつきそうな顔していた五月はツンデレでしょ！？彼女の愛
液がおマンコから流しだしたことを見て、すぐ彼女の肉まんの
ようなお尻を掴んで後ろから入った。まだ状況がわからない五
月は俺に身を任せるしかできない。ところで、まさか5つ子のお
マンコの感じが全部違うんだね。

太い

こ…これは…セックス？
セックスですか？

中に入った

な…何た“が”
おかしくなちゃう…
変な感じが来た…
気持ちよくなっていい

ア

五月のお尻はエロいだね

ハニハニ

いく…またいく

し…子宮まで突き込
んだ…上杉さんの肉
棒が…ずっと…

好き

気持ちいい…
セックス…
セックスのは…はあ

大好き



五月も…

上杉さん…
もう射精する？
中にする？

中出さねたいの

ぱじゅ
ぱじゅ

じゃほ。じゃほ。

上杉風太郎日記 中野五月 #03

挿入の途中に、五月はいきなり俺をベッドに押し込んで、俺
の上に乗って動い始めてた。どうやら淫乱なスイッチをつけ
たようだ。淫乱な声を出しながら、頑張って腰を動かした五
月は、俺の肉茎を全部おマンコの中に吸い込みたいそうだ。

上杉風太郎日記 中野五月 #04

中出しと言ったら、やっぱ正面でその大きなおっぱいを見ながら、しっかりと太ももを掴みながら、大量な精液をたっぷりその小さな子宮に注いだ。射精を止まず肉棒がぶるぶる震えた。五月の子宮頸が私の肉棒をしつかり吸い込んで、欲張りに一滴も残さないような感じがした。30秒続く射精した後、流石に疲れてしまったな。だから以我説五つ子が一番面倒だ。

射精するぞ！五月！

は…兀った！！

上杉の…精液！！

嬉しい

上杉 亂交

五月も…も…も…
上杉に中出されたな…ああ…

好きだよ～

五月も…

に…妊娠させて…
フ…フータロー…
に…妊娠したいの…

受精したい

ぶるぶる



フー…フータロー…

ふん…やっと来たか?
フー君～



良かったね…
フータロー

…私たちに
ちゃんと責任を取つ
てよ…フータロー

さあ、フータロー…
今日も皆と一緒に…



私は春場ねぎ先生が描いた場面が好きです。先生は私にとって追いつきない存在です。今回は少し先生のテクニック真似してみました。過程の中で色々考えたことがないことについて勉強になりました。五等分の花嫁も今年で終わりました。先生がこんな素敵なお絵を描いてくれて感謝です。中野家の五つ子に会えて、とっても嬉しいです。
ご岳父！！今後もよろしくお願いします！！

タイトル：五等分の悸動

作者：WaterRing

印刷：彩橋文化事業有限公司

出版：2020年08月01日

Keep Following
@WaterRing